

# ガンサイザーによる東電鉄塔基礎一次破碎状況写真

施工場所：神奈川県横須賀市田浦



破碎箇所に装てんするガンサイザーを配る。  
1列目と2列目を同時に破碎を行った。



ステミングをしっかりと行う。



ゴムマットを縦・横交互に被せる



ゴムマットの上に防爆シートを被せる。



前面1・2列目の破碎状況



前面1・2列目の破碎状況

設計・施工；東神興産株式会社

# ガンサイザーによる東電鉄塔基礎一次破碎状況写真

施工場所：神奈川県横須賀市田浦



鉄筋コンクリートの基礎は、上下2段となっており、段毎に破碎を行う。上下段の削孔が終了した状態。



水平距離30mのところに民家あり、防護は確実に行う。



前面上部鉄筋をハツリ出し、切断しておくことで、少ない薬量で破碎することが可能となる。



下段の破碎を7回に分割して行った後の破碎状況



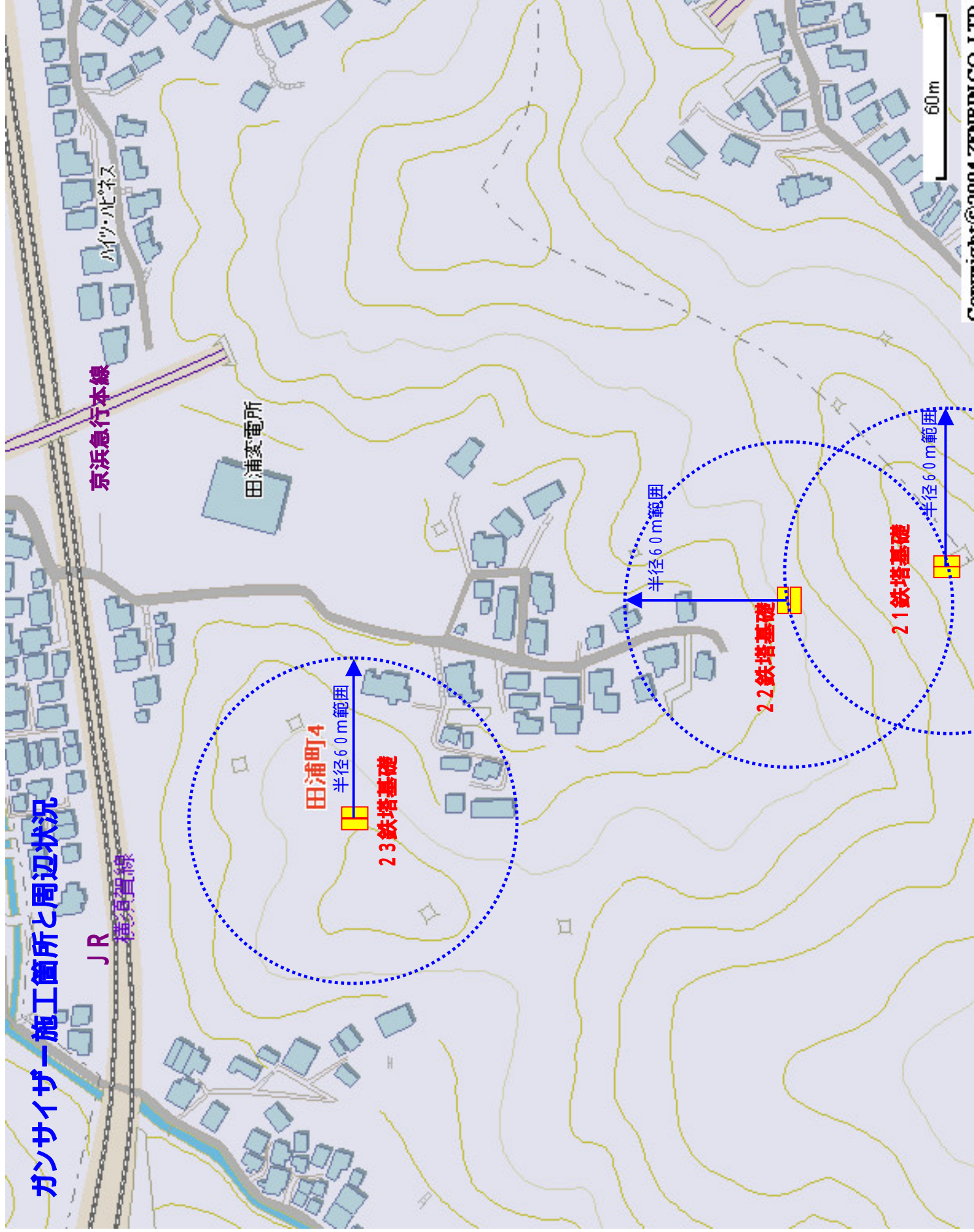
鉄筋下部も細かく破碎されている。



破碎コンクリート片は、飛び散らず破碎箇所に収まっている

設計・施工；東神興産株式会社

# ガンサイザー施工箇所と周辺状況



**破砕諸元**

上段:  $5\text{ m (W)} \times 2.5\text{ m (D)} \times 1.5\text{ m (H)} = \underline{18.75\text{ m}^3}$

破砕回数: **8回に分けて破砕**

削孔径: 32 ~ 34 mm

削孔数: 72孔

削孔長: 1.2 m ( ) 35本

1.0 m ( ) 37本

孔間隔: 0.4 m

最小抵抗線: 0.3 m

ガンサイザー使用量 (ガンサイザー 28-12型)

1.2 m孔: ガンサイザー 2本/孔

1.0 m孔: ガンサイザー 1本/孔

ガンサイザー総使用量: **107本 (12.84 kg)**

原単位: **684 g/m<sup>3</sup>**

下段:  $5\text{ m (W)} \times 2.5\text{ m (D)} \times 1.5\text{ m (H)} = \underline{18.75\text{ m}^3}$

破砕回数: **7回に分けて破砕**

削孔径: 32 ~ 34 mm

削孔数: 52孔

削孔長: 1.2 m ( ) 28本

1.0 m ( ) 24本

孔間隔: 0.4 m

最小抵抗線: 0.3 m

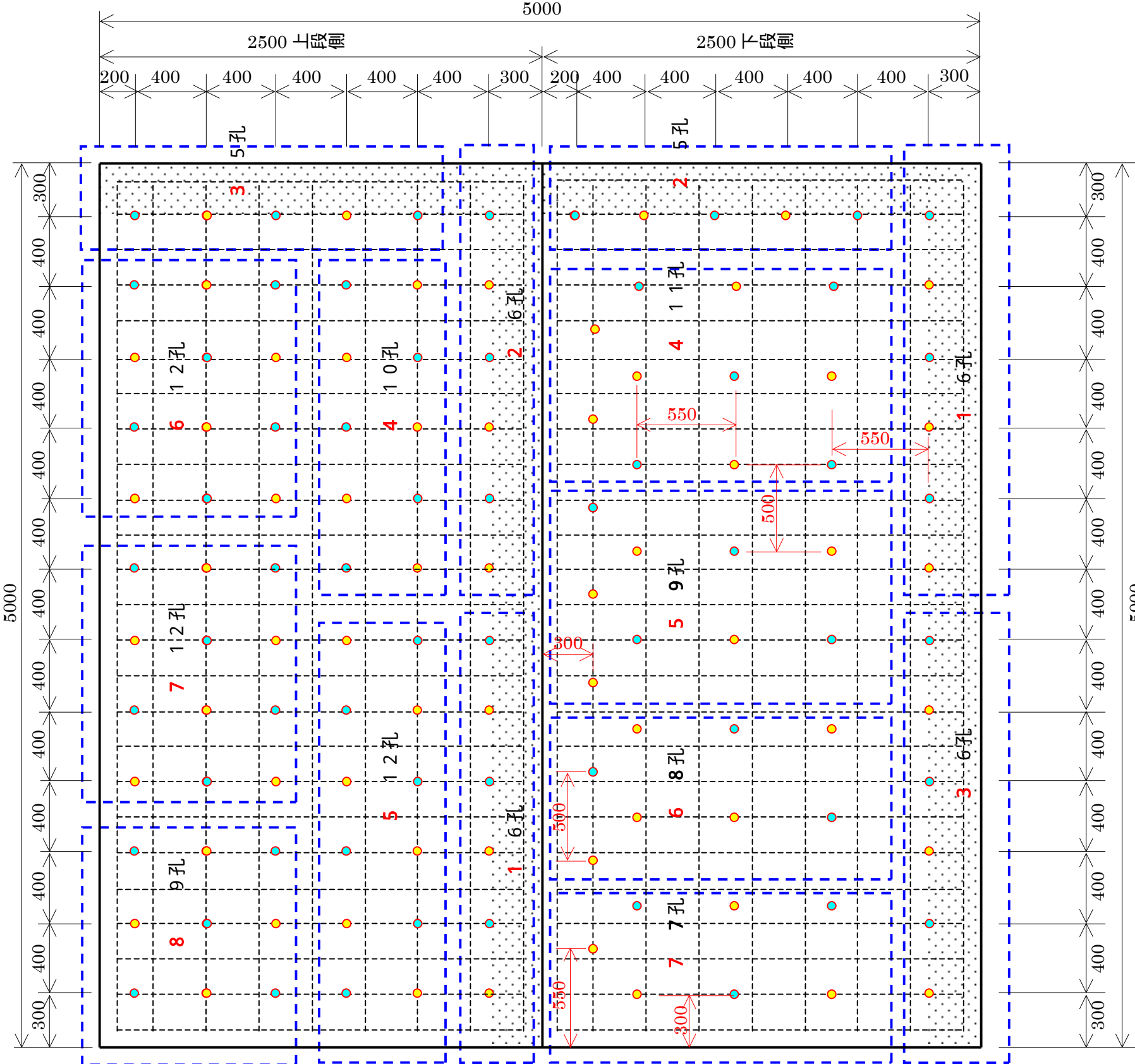
ガンサイザー使用量 (ガンサイザー 28-12型)

1.2 m孔: ガンサイザー 2本/孔

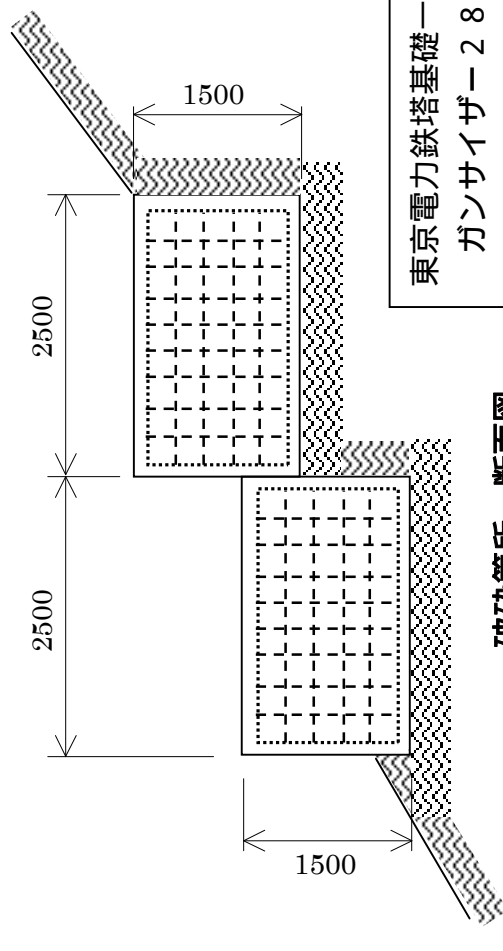
1.0 m孔: ガンサイザー 1本/孔

ガンサイザー総使用量: **80本 (9.6 kg)**

原単位: **512 g**



破砕箇所削孔パターン図 (平面図)



破砕箇所 断面図

東京電力鉄塔基礎一次破砕計画図  
ガンサイザー 28-12型

東神興産株式会社